

義務教育学校前期課程の取組

多様な関わりを通して、運動やスポーツへの魅力を高める実践
(4年体育科「短距離走」「器械運動」での取組)

子供たち同士で課題解決に取り組み、共に探究していく中で、後期課程7年生と関わる機会を設けた。



○仲間との関係や思考、表現の質を上げていくことができた。



子供たちにとって、価値ある学びにつながっていった。

教師同士の関わり ... 週1回の教科会

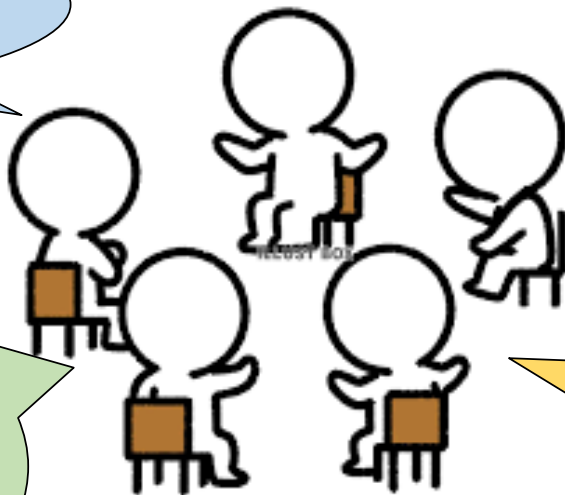
9年間の協働探究カリキュラム創りを通して、系統的なつながりを意識した授業デザインを考えている。

前期課程の学びを
上手くつなげられないか？

前期課程も後期課程も
子供たちが学びを
高められるといい。

後期課程では、短距離
走で「走り」の探究を
進めている。
前期課程の子供たちに
生かせないか？

同時期に子供たちが
関わり合えるような
カリキュラムデザイ
ンをしたい。



義務教育学校前期課程の取組

短距離走（50m走）での取組

4年生...チームやペアの仲間と共に試行錯誤しながら解決に取り組む。



7年生が入ることで多様な視点からのアドバイスが加わり、より理想的な走りへ近づくことができた。

多様な関わりを通して、運動やスポーツへの魅力を高める実践
（4年体育科「短距離走」「器械運動」での取組）

7年生...「走り」についての探究を進め、これまでの振り返りとして、単元の学びを生かしながら4年生にレッスンをを行う。



4年生の一人一人の走りを確認しながら、適切な声掛けや課題に合ったトレーニングを提案することができた。

義務教育学校前期課程の取組

多様な関わりを通して、運動やスポーツへの魅力を高める実践
(4年体育科「短距離走」「器械運動」での取組)

器械運動（マット運動）での取組

4年生...挑戦したい技ごとに探究チームを結成、
仲間と共に課題に応じた解決策を考え出す。



多様な視点からのアドバイスが加わり、自分たちの
課題解決につながった。

7年生...習得し磨きをかけたマット運動の技をもと
に、共に解決策を考え出す。



7年生にとって、**基本的な技を再度見つめ直す機会**と
なり、より完成度の高い発展技の習得へとつなげて
いくことができた。

<取組名>

多様な関わりを通して、運動やスポーツへの魅力を高める実践（４年体育科における取組）

<実践>

本実践は前期課程４年生における体育科「短距離走」と「器械運動（マット運動）」における実践である。それぞれの学習を進めていく中で、子供たち同士で課題解決に取り組む、共に探究していく中で、後期課程７年生と関わる機会を設け、仲間との関係や思考、表現の質を高めていくことができた。そしてそのことが子供たちにとっての価値ある学びにつながっていった。

* 教師同士の関わり

前期課程、後期課程の教員は、週１回合同で教科会を開いている。体育科の教科会において、９年間の協働探究カリキュラム創りを通して、系統的なつながりを意識した授業デザインを考えている。今回の実践では、前期課程、後期課程双方での「短距離走」、「器械運動」の探究的学びの中で、課題解決に向けて共に解決策を考え出す場を設けるためのカリキュラムを考えた。

* 短距離走（50m走）での取組

「どこまで理想の走りに近づけるのか」「その結果として果たして50m走の記録は縮むのか」という単元を貫く問いのもと、チームやペアの仲間と共に試行錯誤しながら解決に取り組んでいった。

同時期に「走り」についての探究を進め、ちょうど単元を終えた７年生が、これまでの振り返りとして、単元の学びを生かしながら４年生にレッスンを行う時間をもった。

これまでのチームやペアでの探究活動に、７年生が入ることで多様な視点からのアドバイスが加わり、より理想的な走りへ近づくことができた時間となった。

７年生は４年生の一人一人の走りを確認しながら、適切な声掛けをしたり、課題に合ったトレーニングを提案したりする様子が見られ、４年生も真剣にトレーニングに取り組む姿が見られた。

* 器械運動（マット運動）での取組

挑戦したい技ごとに探究チームを結成し、「どうして“できない”のか」「どうしたら“できる”のか」という問いのもと、動作の比較、分析を通して様々な課題を見つけ出し、仲間と共に課題に応じた解決策を考え出していった。子供たちが持っている知識や経験、発想力だけでは様々な課題への対応は難しい。そこで、同時期にマット運動に取り組み、習得した技に磨きをかけている７年生と共に解決策を考え出す場を設けた。

短距離走での取組と同様、７年生が入ることで多様な視点からのアドバイスが加わり、自分たちの課題解決の一助となった。また７年生にとっても、基本的な技を再度見つめ直す機会となり、より完成度の高い発展技の習得へとつなげていくことができた。